



柏市学校図書館だより

中学校版
第3号
令和6年10月
柏市学校図書館

10月になりました。空の色も雲の形もすっかり秋らしくなりましたね。これからは何をすることもとても良い季節です。日々の生活を豊かにする趣味や読書など、じっくり取り組んでみませんか？学校図書館では秋を楽しむための本を展示してお待ちしています。



読書週間



第78回読書週間が10月27日から始まります。1947年、「読書の力によって平和な文化国家をつくろう」という決意のもと、第1回読書週間が開催されました。今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。

おすすめ本

テーマ 【秋を楽しむ本】



《月を楽しむ・月の出てくる物語》

『月まで三キロ』

伊与原新(著)新潮社〈NDC913〉

ままならない人生を送っていても、人は進んでいかなくはなりません。ふと見上げた月や星が主人公たちの肩の力を抜いてくれる、そんなやさしさが描かれている短編集です。理系の著者が科学的知識を取り込みながら書いた作品です。

《芸術を楽しむ・絵画をめぐるミステリー》

『楽園のカンヴァス』

原田マハ(著)新潮社〈NDC913〉

巨匠アンリ・ルソーの『夢』。それととてもよく似た作品を所有する大富豪が真贋の判定を依頼しました。ヒントは謎の古書。リミットは7日間。古書を紐解きながら、ピカソとルソー、二人の謎に迫ります。

《食事を楽しむ・どんなものを食べているの?》

『南極の食卓 女性料理人が

極限の地で見つけた暮らしの知恵』

渡貫淳子(著)家の光協会〈NDC297〉

南極にある昭和基地では、毎日どんな食事が出されているのでしょうか？著者が南極料理人を目指し、南極に行き、料理人として過ごした日々が描かれています。限られた食材を無駄なく利用する工夫がたくさん見られます。

《読書を楽しむ・新しい本との出会いを求めて》

『いつか君に会ってほしい本』

田村文(著)河出書房新社〈NDC019〉

中学生向けに書いた書評は550超。その中から選定し、分類したものが本になりました。「本には読むべき「とき」がある」と著者は言います。紹介されている158冊は、中学生の今だからこそ手に取ってほしい本です。

☆紹介した本は、自校で所蔵していないものもあります。



令和6年度 市内中学生ビブリオバトル(知的書評合戦)

【各ブロック予選】場所：各中学校(オンライン開催)

2024年10月1日(火)～10月11日(金)16時から ※土・日・月曜日を除く1日

【決勝】場所：パレット柏 オープンスペース

2024年10月20日(日)10時半から

主催：柏市立図書館



柏市学校図書館だよりは5月・7月・10月・12月・3月に発行予定です。